

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
杵築市	下河内畜産団地地区	令和3年9月15日	-年-月-日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	12.1ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	10.4ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	0.9ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0ha
④地区内において今後中心経営体引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.9ha
(備考) 耕地面積に、一部山林や牧場面積も含む。	

2 対象地区の課題

地区内の畜産農家が高齢化し、他地区の畜産農家へ貸し付けている。また、第三者継承が行われた農家もあり、今後、中心経営体が地区内の農地、牧場を守っていく必要がある。
--

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

地区内の農地利用は、中心経営体である認定農業者、認定新規就農者の2経営体が担う。
--

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農	A	酪農	8.0 ha	酪農	8.0 ha	下河内畜産団地
認就	B	肉用牛	1.4 ha	肉用牛	2.3 ha	下河内畜産団地
計	2人		9.4 ha		10.3 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

農地の貸付け等の意向 貸付け等の意向が確認された農地は、4筆、9,485㎡となっている。
農地中間管理機構の活用方針 畑地、採草地が大半を占め、水田地帯に比べて1農家当たりの農地面積が大きい。今後、農地については農地中間管理機構に貸し付け、担い手への集積を図る。
鳥獣被害防止対策、耕作放棄地対策の取組方針 鳥獣害対策として侵入防止柵の設置や管理、捕獲の推進を図るとともに、被害防止につながる耕作放棄地の解消にも取り組む。
施設整備への取組方針 経営継承した牛舎について、補助事業を活用し改修を行い、併せて省力化機械の整備に取り組む。

(参考) 農地の貸付け等の意向(任意記載事項)

	農地の所在(地番)	貸付け等の区分(㎡)			うち自己所有地の 中間管理利用
		貸付け	作業委託	売渡	
1	山香町大字日指字堂田			6,169	
2	山香町大字日指字黒坊			3,316	
3					
4					
5					
6					
	計			9,485	0